

吾非丈夫者其辞氣慷慨故以即配經津
主神令平葦原中国云々玉を平けあふ神
達なれば蝦夷降伏の爲に海外にありける
よや社伝又十石社家二人^{上社家言橋原政と云}
社傳一負あり^{下社家は姓として支那に}
ハに天王寺の境内といふ事を略しつゝ村
名もやあに引傳る日本逸史に王堂舎の
上よ至る文に記天王寺丈六仏像とあり
是古に王社の本地堂なりべし今の古に王
の社傳ハに天王寺をもち傳へつゝちるが如

べし

一日吉社 ^{古傳云王とも}

代々城を造りてあふ社なり信矣橋のふ
王といふ社伝又十石に月中申日ありあり
格式書云々としてその日社事記家の記載法
人等耳目事とを社家あり

一丈八幡云

城を造りてのまを八月十五日造るの社
事あり

一稻荷大明神